

●ぜん息治療の変遷

「喘息予防・管理ガイドライン」登場！

吸入ステロイド薬
中心の治療が明記された。



1990年

○ 1993年

ロイコトリエン受容体拮抗薬登場



○ 2000年



吸入ステロイド薬と長時間作用性 β_2 刺激薬の
配合剤 (アドエア[®]) 登場

○ 2007年

抗IgE抗体 (ゾレア[®]) 登場



○ 2009年



気管支熱形成術 (気管支サーモプラスティ) 保険適用
長時間作用性抗コリン薬 (スピリーバ[®]レスピマット[®])
成人ぜん息に適用

○ 2015年

抗IL-5抗体 (ヌーカラ[®]) 登場



○ 2016年

抗IL-5受容体 α 抗体 (ファセンラ[®]) 登場



○ 2018年

抗IL-4受容体 α 抗体
(デュピクセント[®]) 登場



○ 2019年

ぜん息の原因がわからないため
「発作止め」が治療の中心



ぜん息の原因は気道の炎症
炎症を抑える「吸入ステロイド薬」が治療の中心